

恋の中国文明史



[恋の中国文明史_ダウンロード1](#)

著者:張競

出版者:筑摩書房

出版時間:1993

装幀:単行本

isbn:9784480051905

異民族に何度も征服されたのに、最後に勝利したのは、なぜいつも漢民族なのか?それ

は漢民族が単一民族ではなく、異民族とのさまざまな血の交流のなかから新たな活力を採りいれてきたハイブリット民族だからである。

作者介绍:

目录: 目次 序章 文化を解く鍵—恋
第1章 閨房内の恋—中原文明の象徴
第2章 人神の恋—南方の歌垣から
第3章 人怪の恋—北方民族の文化から
第4章 美貌の胡姫たち—長安の宴
第5章 略奪婚の衝撃—漢民族文化への回帰
第6章 モンゴル文化の陰影—男女共演の舞台
第7章 明代の淫らな性—『金瓶梅』の秘密
第8章 新しい恋—『紅樓夢』の謎
終章 恋愛の発見—中国文化の近代
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[恋の中国文明史_下载链接1_](#)

标签

文化史

日语

日本語

日本中国学

历史

评论

为了备课而不得不进行的细致阅读。用日语写作的学术类文库本书籍，有异常条理清晰的特点，因此要把握其主旨相对容易。但是作者以儒学＝中原文明＝汉民族中心的意识形态v.s.非儒学＝汉民族以外之民族的二元架构去解读「恋」的发生及其表现形式的变迁，总是有过于疏阔的感觉。全书最精彩的部分是对《红楼梦》之“恋”的分析，作者

将宝黛之“恋”放置于汉族的理念性文化价值与满族文化的夹缝之中来解读，的确颇有新意。

[恋の中国文明史 下载链接1](#)

书评

[恋の中国文明史 下载链接1](#)